

2025年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程：工業専門課程

学科：セキュリティ・ネットワーク科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
32	Webプログラミング	2	60	4	必修	実習	無
33	JavaScript	2	60	4	必修	実習	有
34	CCNAⅢ	2	30	2	必修	講義	無
35	CCNAⅣ	2	30	2	必修	実習	無
36	CCNAⅤ	2	30	2	必修	講義	無
37	CCNAⅥ	2	30	2	必修	実習	無
38	LinuxⅠ	2	60	4	必修	実習	有
39	LinuxⅡ	2	60	4	必修	実習	有
40	LPIC/LinuC対策Ⅰ	2	30	2	選択	講義	有
42	セキュリティⅢ	2	60	4	必修	講義	有
43	セキュリティ監査	2	30	2	必修	実習	有
44	セキュリティ解析	2	30	2	必修	実習	無
45	セキュリティ実務演習	2	30	2	必修	実習	有
46	ログ解析手法	2	30	2	必修	実習	有
47	データサイエンス	2	30	2	必修	講義	有
48	データベース(SQL演習)Ⅱ	2	30	2	必修	実習	有
49	基本情報対策Ⅱ(科目A対策Ⅱ)	2	30	2	必修	講義	無
50	基本情報科目B対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	無
51	基礎英語Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
52	基礎英語Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
53	一般常識Ⅰ	2	30	2	必修	講義	無
54	一般常識Ⅱ	2	30	2	必修	講義	無
55	就職対策Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
56	就職対策Ⅱ	2	30	2	選択	講義	無
57	就職対策Ⅲ	2	30	2	選択	講義	無
58	ビジネスマナーⅡ	2	30	2	必修	講義	有
59	ビジネス検定対策	2	30	2	必修	講義	有
60	ビジネス数学	2	30	2	必修	講義	無

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
61	情報関連法規Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
62	文章作成/読解	2	30	2	必修	演習	無
63	体育実習Ⅱ	2	60	4	必修	実習	無
64	課外活動Ⅱ	2	15	1	選択	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	Webプログラミング		砂賀 勝己	無	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
CGIとDBを用いたウェブサイトの構築手法について学習する							
【講義概要】							
言語としてphp、DBサーバとしてMySQLを使う。演習をメインとして理解力を深める							
回	授業計画及び学習の内容						
1	php概要、phpの基本文法・他言語との違い(変数、制御文など)、CGIとは						
2	postによるデータの取得とページの生成、文字列を扱う関数						
3	ファイル、ラジオボタン(Form要素)						
4	連想配列、foreach、die、チェックボックス(Form)						
5	正規表現－概要、記述法、関連関数－、配列操作1－追加/削除のメソッドなど－						
6	配列操作2－ソート、コピー、ファイルへのデータの追加、正規表現応用						
7	総合演習1						
8	関数(ユーザ定義)、日付関数						
9	ヒアドキュメント、table関係の要素、phpによる作表						
10	cookie操作						
11	phpとMySQLの連携1－MySQL概要、接続/アクセスのための基本メソッド－						
12	セッション管理、phpとMySQLの連携2－各種SQL文1－						
13	phpとMySQLの連携3－各種SQL文2－、include						
14	クラスの利用、getメソッド						
15	総合演習3						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		<ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。 					
【教員紹介】							
教育機関にて学内のシステム・インフラ開発業務に従事 教員歴30年強。プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。							
【教科書・参考文献】							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	JavaScript		加藤 友樹	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
ブラウザで稼働する唯一の言語JavaScriptとは何なのかを知り基礎的な知識を学びます。																					
【講義概要】																					
JavaScriptによって作ることができるものを知り、静的なホームページから動的なホームページへ改良をすることができるようになる。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	JavaScriptとはどんなプログラミング言語か？ JavaScriptのできる事。開発環境の準備。																				
2	HTML (HyperText Markup Language) とDOM(Domain Object Model)の関係																				
3	Webページに関わる様々なファイル、ドメインとオリジン																				
4	プログラムの基本的な仕組み 変数宣言、代入、スコープなど																				
5	大量のデータを扱うデータ型 オブジェクトと配列 演算子																				
6	関数、制御構文、データ処理																				
7	プログラムの制御、繰り返し処理																				
8	配列の処理																				
9	文字列、日時処理																				
10	JavaScriptのオブジェクト指向について その1																				
11	JavaScriptのオブジェクト指向について その2																				
12	イベントによJavaScriptとDOMの接続																				
13	フォームの操作 その1																				
14	フォームの操作 その2																				
15	DOM操作を利用したアニメーション																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td>20%</td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	60%	20%		20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	60%	20%		20%		100%															
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。																					
【教員紹介】																					
ウェブ制作会社やセキュリティ企業で設計から開発に関わる全般の業務に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
JavaScript[完全]入門 https://amzn.asia/d/bYQjdds 上記に加え別途補足資料を作成し配布																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	CCNAⅢ		平塚悠生	無	2単位 30時間	
	実習	CCNAⅣ				2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける							
【講義概要】							
OSI参照モデルに従い、各層で動作するネットワークデバイスの役割を学ぶ。シミュレーションソフトを用いてネットワークデバイスの基本的な操作を身につける。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	OSI参照モデルL1について						
2	仮想端末接続						
3	ルータ起動の流れ						
4	IFのL1およびL2の状態について						
5	スタティックルートの復習と応用						
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）						
7	中間試験						
8	ダイナミックルートとスタティックルートの比較						
9	ルーティングプロトコルの基本的なしくみ						
10	フローティングスタティックルート、VLSMについて						
11	RIPの概要						
12	RIPの設定演習						
13	ワイルドカードマスクについて						
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	70%			30%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 						
【教員紹介】							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。							
【教科書・参考文献】							
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	CCNAIV		平塚悠生	無	2単位 30時間	
	講義	CCNAIII				2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける							
【講義概要】							
OSI参照モデルに従い、各層で動作するネットワークデバイスの役割を学ぶ。シミュレーションソフトを用いてネットワークデバイスの基本的な操作を身につける。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	OSI参照モデルL1について						
2	仮想端末接続						
3	ルータ起動の流れ						
4	IFのL1およびL2の状態について						
5	スタティックルートの復習と応用						
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）						
7	中間試験						
8	ダイナミックルートとスタティックルートの比較						
9	ルーティングプロトコルの基本的なしくみ						
10	フローティングスタティックルート、VLSMについて						
11	RIPの概要						
12	RIPの設定演習						
13	ワイルドカードマスクについて						
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	70%			30%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> レポートや自習課題は必ず提出すること 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 						
【教員紹介】							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。							
【教科書・参考文献】							
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	CCNAV		平塚悠生	無	2単位 30時間	
	実習	CCNAVI				2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける							
【講義概要】							
ルータの各種機能と設定方法を取り扱う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ACL概要①						
2	ACLの設定						
3	NAT概要						
4	NATの設定						
5	可変長サブネットマスクについて						
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）						
7	中間試験						
8	EIGRP概要と基本設定						
9	EIGRP概要①						
10	EIGRP概要②						
11	EIGRPの応用設定						
12	経路集約						
13	アドレスの計算演習						
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	70%			30%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> レポートや自習課題は必ず提出すること 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 						
【教員紹介】							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。							
【教科書・参考文献】							
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	CCNAVI		平塚悠生	無	2単位 30時間	
	講義	CCNAV				2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
最終的にはCCNAを取得するだけの知識と、ネットワーク機器の基本的な操作を身につける							
【講義概要】							
ルータの各種機能と設定方法を取り扱う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ACL概要①						
2	ACLの設定						
3	NAT概要						
4	NATの設定						
5	可変長サブネットマスクについて						
6	ここまでの振り返り（中間試験対策）						
7	中間試験						
8	EIGRP概要と基本設定						
9	EIGRP概要①						
10	EIGRP概要②						
11	EIGRPの応用設定						
12	経路集約						
13	アドレスの計算演習						
14	ここまでの振り返り（期末試験対策）						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	70%			30%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> レポートや自習課題は必ず提出すること 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 						
【教員紹介】							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。							
【教科書・参考文献】							
(参考文献) 翔泳社「Cisco CCNA完全合格テキスト&問題集」							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	Linux I		坂巻 吉則	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Linuxを利用したサーバー構築に必要な知識および操作技術を、仮想化環境を利用した実機演習を通して習得することを目標とする。																					
【講義概要】																					
各回ともそのテーマに関する、演習課題（実機コマンド操作）を1～3問程度出題する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Linuxの環境構成、Linuxの特徴																				
2	ファイル操作の基礎																				
3	ファイル操作の基礎																				
4	テキスト処理																				
5	ユーザーとグループの管理、所有者管理とアクセス権の設定																				
6	パッケージ管理、システムアーキテクチャー																				
7	中間課題																				
8	デバイスとファイルシステム																				
9	シェルの機能とシェルスクリプト																				
10	ネットワーク管理																				
11	システム管理																				
12	セキュリティ																				
13	最終課題																				
14	総合演習1																				
15	総合演習2																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（出席点）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>40%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td>40%</td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計	割合	40%			20%	40%	100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計															
割合	40%			20%	40%	100%															
(補足) <ul style="list-style-type: none">成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。レポートや自習課題は必ず提出すること。																					
【教員紹介】																					
IT教育専門会社の代表としてIT教育関連事業に従事する。 現在は主に提携する大手メーカー系Sierのサーバー・ネットワーク系講師としての登壇および、カリキュラム開発を担当。 大手ITスクールにてインフラ系インストラクターのリーダーとして教育業務経験、独立系Sierにてサーバー・ネットワークシステムの設計構築、および関連するカリキュラム開発業務の経験あり。																					
【教科書・参考文献】																					
Linuxベーシック（オリジナルテキスト）																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	LinuxII		坂巻 吉則	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
WebサーバーやDNSサーバーをはじめとする各種Linuxサーバー構築技術の習得、およびサーバー構築時におけるセキュリティ知識を習得することを目標とする。							
【講義概要】							
各回ともそのテーマに関する、演習課題（実機コマンド操作）を1～3問程度出題する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Linux環境の構築						
2	システム管理の基礎						
3	Webサーバーの構築						
4	Webサーバーの構築						
5	LAMP環境の構築						
6	SSHによる暗号化通信						
7	サービス状況の把握とファイアウォール設定						
8	DNSサーバーの構築						
9	DNSサーバーの構築						
10	メールサーバーの構築						
11	メールサーバーの構築						
12	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）						
13	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）						
14	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）						
15	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計	
割合	40%			20%	40%	100%	
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。							
【教員紹介】							
IT教育専門会社の代表としてIT教育関連事業に従事する。現在は主に提携する大手メーカー系Sierのサーバー・ネットワーク系講師としての登壇および、カリキュラム開発を担当。大手ITスクールにてインフラ系インストラクターのリーダーとして教育業務経験、独立系Sierにてサーバー・ネットワークシステムの設計構築、および関連するカリキュラム開発業務の経験あり。							
【教科書・参考文献】							
LinuxServerセキュリティ（オリジナルテキスト）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	選択	LPIC/LinuC対策 I		鈴木 俊	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Linux Essentials 取得に必要な知識を身につけることを目標とする。							
【講義概要】							
Linux コマンドライン操作の基本を身につけていることを前提として、Linux Essentials 試験の問題対策を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Linuxの進化と普及したオペレーティングシステム						
2	主なオープンソースアプリケーション						
3	ICTスキルとLinuxでの作業						
4	コマンドラインを使ってヘルプを表示する						
5	ファイルの作成、移動、および削除						
6	ファイルからのデータの検索と抽出						
7	ここまでの復習、中間試験対策						
8	中間試験						
9	コマンドをスクリプトにする						
10	データの格納先						
11	ネットワーク上のコンピュータ						
12	セキュリティの基本とユーザー種別						
13	ファイルのパーミッションと所有権を管理する						
14	ここまでの復習、期末試験対策						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験	小テスト	レポート 自習課題	平常点	その他 ()	合計
	割合	80%		20%			100%
	(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。 					
【教員紹介】							
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等							
【教科書・参考文献】							
教科書：JMAM Linux Essentials合格テキスト &問題集							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	セキュリティⅢ		鈴木朋夫	有	4単位 60時間	
	実習	セキュリティ実務演習				2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
情報セキュリティを、技術的、物理的、人的な側面からとらえ、各側面に存在する脅威、ぜい弱性、セキュリティ管理策の概要を理解し、情報セキュリティの要素、用語の基礎的な説明、状況に応じた基礎的なセキュリティ対策を立てることができるようになり、かつ実践的な対応策の説明が出来るようになる。							
【講義概要】							
情報セキュリティの用語や仕組みを講義にて解説し、技術的な分野の一部について仮想マシンを使用し、演習を体験することにより記憶の定着を図る。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	1-1～5：オリエンテーション, 情報セキュリティの概要, 識別と認証, 暗号技術入門①(用語ハッシュ暗号)						
2	2-1～8：暗号技術入門②(対称鍵暗号, デジタル署名, PKIとデジタル証明書, 耐量子暗号)						
3	3-1～6：ネットワーク技術①(ネットワークモデル, 無線LANの基礎, IP, ICMP, IPv6, IPSec, TCP, UDP)						
4	4-1～4：ネットワーク技術②(DHCP, DNS, TLS/SSL, SSH, FTP/FTPS, SNMP)						
5	5-1～4：ネットワーク技術③(HTTP/HTTPS, NATとVPN, Webアプリケーション)						
6	6-1～3：ネットワーク技術④(メールシステム), 攻撃①(攻撃者の種類と行動, 基本的な攻撃手法)						
7	中間テスト						
8	7-1～5：攻撃② (DNS, HTTPサーバ, Webアプリへの攻撃, マルウェア, ソーシャルエンジニアリング, 高度な攻撃)						
9	8-1～6：情報セキュリティ対策① (情報セキュリティポリシー, 用語, リスク管理, 情報セキュリティ管理, ぜい弱性の検査)						
10	9-1～6：情報セキュリティ対策②(仮想化技術, 識別の種類, 認証技術, PKIとデジタル証明書の詳細)						
11	10-1～4：情報セキュリティ対策③(クラウドコンピューティング, コンピュータの管理, リソースのアクセス制御)						
12	11-1～6：情報セキュリティ対策④(NWのアクセス制御, 無線LANのセキュリティ, テレワーキング, セキュアエリア, 装置と環境セキュリティ)						
13	12-1～3情報セキュリティ対策⑤(侵入検知, インシデント管理とフォレンジックス, 事業継続性の管理)						
14	13-1～4:情報セキュリティ対策⑦(冗長構成, 運用セキュリティ, 講義まとめ)						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	
割合	42%		58%			100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。 						
【教員紹介】							
ソフトウェア開発会社で開発を12年、教育を6年行い、大学で17年情報セキュリティの講座を受け持っています。							
【教科書・参考文献】							
プリント							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	セキュリティ監査		村上 浩紀	有	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

企業における内部監査を理解し、情報セキュリティ監査制度の知見をえて、情報セキュリティ監査の基礎知識を習得することを目標とする。

【講義概要】

教科書をベースに情報セキュリティ内部監査を説明し、Web情報をベースに情報セキュリティ監査制度を追加で説明する。前提となる情報セキュリティの基礎知識についても触れる

回	授業計画及び学習の内容
1	内部監査とは
2	情報セキュリティ内部監査の位置づけと内部監査人の必要性
3	あらためて情報セキュリティの基礎を学ぶ
4	リスクマネジメント
5	情報セキュリティ監査制度
6	情報セキュリティ監査制度：監査基準
7	中間試験
8	情報セキュリティ監査制度：管理基準
9	情報セキュリティ内部監査組織の整備、監査の効率的な進め方
10	監査手続き
11	監査リスクと品質管理
12	情報セキュリティ監査の工程：年間監査計画、基本方針、予備的調査、実施計画、監査実施
13	情報セキュリティ監査の工程：意見形成、監査報告、フォローアップ
14	技術的検証、技術的検証と監査との関係、全体のまとめ
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%			40%		100%

(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

- (1) ITベンダー勤務、クラウドアーキテクト
- (2) 情報セキュリティ製品および認証系エンジニアとしての業務経験
- (3) 情報セキュリティの取り組み支援および講演、演習などの実務経験

【教科書・参考文献】

教科書：情報セキュリティ内部監査の教科書 改訂三版(インプレスR&D)
 参考文献：情報セキュリティ監査制度：<https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/is-kansa/>
 参考文献：インターネットの安全・安心ハンドブック：<https://security-portal.nisc.go.jp/guidance/handbook.html>

東京電子専門学校 セキュリティ・ネットワーク科

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	セキュリティ解析		平塚悠生	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
簡単なCTF (Capture The Flag) 競技の問題が解けるレベルの基礎知識を身につけることを目的とする。なお、バイナリ解析ではx86_64環境をベースにして説明する。																					
【講義概要】																					
Linuxの基本操作を学びながら、各種ツールを用いて演習を実施する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Linuxの基本操作①																				
2	Linuxの基本操作②																				
3	Linuxの基本操作③																				
4	CTFとは、fileコマンド、stringsコマンド																				
5	Forensics① バイナリ																				
6	Forensics② zip、exif																				
7	Crypto① base64、シーザー暗号																				
8	Crypto② ハッシュ、RSA暗号																				
9	Reversing① アセンブリ言語 (代入、加算、減算、関数呼び出し)																				
10	Reversing② アセンブリ言語 (分岐)、バイトオーダ																				
11	Reversing③ 逆アセンブルの実行、スタックとは																				
12	Reversing④ gdbの使い方																				
13	Pwn① パイプの使用、バッファオーバーフロー																				
14	Pwn② 任意の関数の呼び出し																				
15	Pwn③ フォーマット文字列攻撃																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	100%					100%															
(補足) ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。																					
【教員紹介】																					
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。																					
【教科書・参考文献】																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	セキュリティ実務演習		鈴木朋夫	有	2単位	30時間
	講義	セキュリティⅢ				4単位	60時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
情報セキュリティを、技術的、物理的、人的な側面からとらえ、各側面に存在する脅威、ぜい弱性、セキュリティ管理策の概要を理解し、情報セキュリティの要素、用語の基礎的な説明、状況に応じた基礎的なセキュリティ対策を立てることができるようになり、かつ実践的な対応策の説明が出来るようになる。							
【講義概要】							
情報セキュリティの用語や仕組みを講義にて解説し、技術的な分野の一部について仮想マシンを使用し、演習を体験することにより記憶の定着を図る。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	1-1～5：オリエンテーション, 情報セキュリティの概要, 識別と認証, 暗号技術入門①(用語ハッシュ暗号)						
2	2-1～8：暗号技術入門②(対称鍵暗号, デジタル署名, PKIとデジタル証明書, 耐量子暗号)						
3	3-1～6：ネットワーク技術①(ネットワークモデル, 無線LANの基礎, IP, ICMP, IPv6, IPSec, TCP, UDP)						
4	4-1～4：ネットワーク技術②(DHCP, DNS, TLS/SSL, SSH, FTP/FTPS, SNMP)						
5	5-1～4：ネットワーク技術③(HTTP/HTTPS, NATとVPN, Webアプリケーション)						
6	6-1～3：ネットワーク技術④(メールシステム), 攻撃①(攻撃者の種類と行動, 基本的な攻撃手法)						
7	中間テスト						
8	7-1～5：攻撃② (DNS, HTTPサーバ, Webアプリへの攻撃, マルウェア, ソーシャルエンジニアリング, 高度な攻撃)						
9	8-1～6：情報セキュリティ対策① (情報セキュリティポリシー, 用語, リスク管理, 情報セキュリティ管理, ぜい弱性の検査)						
10	9-1～6：情報セキュリティ対策②(仮想化技術, 識別の種類, 認証技術, PKIとデジタル証明書の詳細)						
11	10-1～4：情報セキュリティ対策③(クラウドコンピューティング, コンピュータの管理, リソースのアクセス制御)						
12	11-1～6：情報セキュリティ対策④(NWのアクセス制御, 無線LANのセキュリティ, テレワーキング, セキュアエリア, 装置と環境セキュリティ)						
13	12-1～3情報セキュリティ対策⑤(侵入検知, インシデント管理とフォレンジックス, 事業継続性の管理)						
14	13-1～4:情報セキュリティ対策⑦(冗長構成, 運用セキュリティ, 講義まとめ)						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	
割合	42%		58%			100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。 						
【教員紹介】							
ソフトウェア開発会社で開発を12年、教育を6年行い、大学で17年情報セキュリティの講座を受け持っています。							
【教科書・参考文献】							
プリント							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	ログ解析手法		産学連携	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
ログ収集分析ツールであるsplunkを使い、ログの解析手法について学習する。 本講座は三井物産セキュアディレクション(株)(MBSD)との産学連携授業である。																					
【講義概要】																					
<ul style="list-style-type: none"> ・ splunkの基本的な操作方法、用語などを学習する。また、これを用いたログ分析手法について学習する。コンテンツとしてMBSD作成のものを適宜参照する。 ・ wiresharkによるパケットキャプチャとその分析手法について学習する。 																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1																					
2																					
3																					
4																					
5																					
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境構築(Linux版を使用) ・ ログとは 																				
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ splunkとは 概要、操作方法、サーチ各種 ・ BOTS V1演習 																				
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ MBSD様による特別講義 																				
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期初頭：ログとは、splunkについて、各種コマンド ・ 学期中盤：セキュリティエンジニアの仕事内容、splunk演習 																				
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期最後：BOTS V1発表 																				
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ wiresharkとは 概要、操作方法、パケット解析 																				
12																					
13																					
14																					
15																					
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他 ()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	100%					100%															
(補足) <ul style="list-style-type: none"> ・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。 																					
【教員紹介】																					
三井物産セキュアディレクション(株)のエンジニア数名が3回講師として特別授業を行う																					
【教科書・参考文献】																					
splunk公式資料、MBSD作成オリジナル資料																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	データサイエンス	吉田雅裕	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Excelを用いたデータクレンジングの方法、データの正しい読み方、統計的手法を用いたデータ分析をできるようになる。実際のビッグデータに対して、データサイエンスの各種手法を適用できるようになる。

【講義概要】

ビッグデータの利活用が必須化している現代において、実際に大量のデータに接し、それを加工・分析・可視化するスキルが極めて重要となる。本講義では、Microsoft社の表計算ソフト『Excel』を用いて、演習を中心とした授業内容により、データサイエンスの基礎技術を習得する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	データサイエンスのプロセス
3	データ収集①（公開データ）
4	データ収集②（アンケート調査）
5	データクレンジング
6	データ集計
7	データ可視化
8	統計学基礎
9	統計的推定
10	統計的検定
11	連関分析
12	相関分析
13	データサイエンス演習①
14	データサイエンス演習②
15	データサイエンス演習③

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

【教科書・参考文献】

吉田雅裕, 『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』, 技術評論社, 2023

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	データベース(SQL演習)Ⅱ		龔 恵美子	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
SQL演習を通してデータの演算や変換を理解し、DMLを用いたより複雑なデータ操作を身につけることを目標とする。また、エンティティ・属性・多重度に対する理解を深め、ER図やテーブル設計仕様書が書けるようになる。																					
【講義概要】																					
教科書、プロジェクト、プリントを用いてSQLの基本文法を解説した後、XAMPPを使用した演習環境を用いてSQLの実行確認を行う。正規化したエンティティのサンプルを使用し、ExcelでER図やテーブル設計仕様書を記載する演習も行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	演習用データベース環境の構築																				
2	集合演算 (UNION、EXCEPT、INTERSECT)																				
3	CASE演算子 (単純CASE式)																				
4	CASE演算子 (検索CASE式)																				
5	文字列にまつわる関数 (LENGTH、TRIM、REPLACE、SUBSTRING、CONCAT)																				
6	数値と日付にまつわる関数 (ROUND、TRUNC、POWER、CURRENT_TIMESTAMP、CURRENT_DATE、CURRENT_TIME)																				
7	中間試験																				
8	変換にまつわる関数 (CAST、COALESCE)																				
9	行数を限定したデータ取得 (OFFSET-FETCH)																				
10	さまざまな結合 (3テーブル以上の結合、副問い合わせ結果との結合、同じテーブル同士の結合)																				
11	総まとめ、SQL強化演習																				
12	ER図の理解と製図演習																				
13	テーブル設計仕様書の記載演習																				
14	テーブル設計仕様書をもとにDB構築とDB利用																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。																					
【教員紹介】																					
前職にてシステム開発業務に約20年従事し、DBの構築やSQLを用いたデータ管理業務にも長く携わる。OracleSilverFellow保持。																					
【教科書・参考文献】																					
スッキリわかるSQL入門(株式会社インプレス)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2025		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	講義		基本情報対策Ⅱ(科目A対策Ⅱ)	井元和彦	無	2単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験科目Aにおいて、合格水準の力を身につけることを目標とする。							
【講義概要】							
基本情報技術者試験の科目A及び旧午前試験の過去問題、公開問題、サンプル問題を中心に演習・解説を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	過去問演習						
2	過去問演習						
3	過去問演習						
4	過去問演習						
5	過去問演習						
6	過去問演習						
7	中間試験						
8	過去問演習						
9	過去問演習						
10	過去問演習						
11	過去問演習						
12	過去問演習						
13	過去問演習						
14	過去問演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	
割合	80%			20%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> レポートや自習課題は必ず提出すること 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 						
【教員紹介】							
本校専任講師として、資格対策、セキュリティ、ハードウェア、プログラミングなどの授業を担当							
【教科書・参考文献】							
IPAが公開している過去問題、サンプル問題							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	講義	基本情報科目B対策Ⅱ		安藤 真理	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験（FE）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。							
【講義概要】							
基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 受験時の注意						
2	ソート①						
3	ソート②						
4	文字列処理①						
5	文字列処理②						
6	中間試験対策						
7	中間試験解説						
8	過去問対策（アルゴリズム小問①）						
9	過去問対策（アルゴリズム小問②）						
10	過去問対策（アルゴリズム大問①）						
11	過去問対策（アルゴリズム大問②）						
12	過去問対策（セキュリティ①）						
13	過去問対策（セキュリティ②）						
14	期末試験対策						
15	期末試験解説						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	80%			20%		100%
	(補足) <ul style="list-style-type: none"> ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 						
【教員紹介】							
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。							
【教科書・参考文献】							
基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版) (大原出版)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	基礎英語 I		Tope Salami	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
英語でパイソンプログラミングを学習し終了時には簡単なプログラミングができるようにする。							
【講義概要】							
TOPE先生が担当し英語で授業を行う。実際にパイソンを使いながら実習形式で受領を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標						
2	Introducing Python						
3	Conversing with Python						
4	Writing a Program (Python Script)						
5	Writing a Program (Python Script) #2						
6	Review						
7	Mid term test						
8	Mid term review						
9	Create your first Program						
10	Create your first Program #2						
11	Comments and Errors #1						
12	Comments and Errors #2						
13	Variables						
14	Review						
15	Final test						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合		100%					100%
(補足)		<ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。 					
【教員紹介】							
Tope Salami : IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計12年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。”							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ		Tope Salami	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
英語でパイソンプログラミングを学習し終了時には簡単なプログラミングができるようにする。																					
【講義概要】																					
TOPE先生が担当し英語で授業を行う。実際にパイソンを使いながら実習形式で受領を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標																				
2	Introducing Python																				
3	Conversing with Python																				
4	Writing a Program (Python Script)																				
5	Writing a Program (Python Script) #2																				
6	Review																				
7	Mid term test																				
8	Mid term review																				
9	Create your first Program																				
10	Create your first Program #2																				
11	Comments and Errors #1																				
12	Comments and Errors #2																				
13	Variables																				
14	Review																				
15	Final test																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	100%					100%															
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。																					
【教員紹介】																					
Tope Salami : IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計12年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。”																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	一般常識 I		氏原 真代	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
就職試験（一般常識・SPIなど）対策として、基礎学力を身につけさせる事を目的とする。							
【講義概要】							
一般常識・SPIの問題を扱うことで、問題に慣れ、的確に解答できるようにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	漢字・熟語・類義語・対義語						
2	四字熟語・故事成語・ことわざ・慣用句						
3	計算の基礎・式の展開と因数分解						
4	割合・損益算						
5	文章題（1）						
6	前半まとめ 演習問題						
7	中間試験						
8	語の関係・語句						
9	関数とグラフ・方程式と不等式						
10	不等式と領域・n進法						
11	場合の数と確率・集合						
12	図表・資料の読み取り						
13	文章題（2）						
14	後半まとめ 演習問題						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	80%	10%		10%		100%
	（補足） <ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。 						
【教員紹介】							
本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当							
【教科書・参考文献】							
授業時にプリント配布・講義の際に紹介							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ		佐々木 一仁	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
①就職試験対策として必要な学力を身に付ける。				②就職試験の内容を理解し、就職活動に結び付ける。			
【講義概要】							
①一般常識 ②SPI ③その他の検査 など							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Lesson12, Lesson13, Lesson41		小テスト Lesson1				
2	Lesson14, Lesson15, Lesson41		小テスト Lesson2				
3	Lesson16, Lesson17, Lesson42		小テスト Lesson3				
4	Lesson18, Lesson22, Lesson42		小テスト Lesson4, 5				
5	Lesson23, Lesson24, Lesson43		小テスト Lesson6				
6	Lesson25, Lesson26, Lesson43		小テスト Lesson7				
7	中間試験						
8	返却（解説） Lesson27, Lesson28		小テスト Lesson8				
9	Lesson29, Lesson30, Lesson44		小テスト Lesson9				
10	Lesson31, Lesson32, Lesson44		小テスト Lesson10				
11	Lesson33, Lesson34, Lesson45		小テスト Lesson11				
12	Lesson35, Lesson36, Lesson45		小テスト Lesson19				
13	Lesson37, Lesson38, Lesson46		小テスト Lesson20				
14	Lesson39, Lesson40, Lesson46		小テスト Lesson21				
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%	10%		10%		100%	
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。							
【教員紹介】							
中学校，高等学校で20年以上にわたり生徒を指導。「わかる」授業を心掛けている。							
【教科書・参考文献】							
就職筆記試験対策問題集（ムゲンダイ出版）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	就職対策 I		鈴木 俊	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>自分にあった職に就くために行うとよい「自己分析」と「自己PR文の作成」の基本的な方法を習得することを目標とする。また、就職活動の方法を知ること、必要となる準備を行うことを目標とする。</p>							
【講義概要】							
<p>各回、テーマに沿ったグループワーク、グループディスカッションを実施する。各回のワークに参加することを課題として、ワークを通じて記入したシートを提出する。また、レポート課題を提出とする。</p>							
回	授業計画及び学習の内容						
1	自分の「モノの見方」を考える						
2	より良い就職とは何かを考える。職業選択理論						
3	自分が就職に求めるもの考える						
4	トレードオフを考える						
5	人口減少・少子高齢化						
6	中間試験						
7	ES（エントリーシート）何をどう書く						
8	ES（エントリーシート）の改善例						
9	自己PR文章作成ワーク						
10	自己PRポイントネタの注意点						
11	履歴書作成ワーク						
12	ビジネスメールの書き方						
13	伝わりやすい文章の構成を考える①（論理の構成）						
14	伝わりやすい文章の構成を考える②（グルーピング）						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験	小テスト	レポート	平常点 (講義内ワークでの課題提出)	合計	
	割合	40%		20%	40%	100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。 						
【教員紹介】							
<p>インフラ（NW、サーバー）のIT会社にて、営業、人事・労務管理、求人・採用業務に従事</p>							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025	2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ	砂賀 勝己	無
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

企業に対する理解を深める。履歴書に書くネタ探しのポイントを習得する。様々な業種や企業を知る。

【講義概要】

多くの企業の人事担当の方やキャリアコンサルタントの話を聞き、企業や業種に関する理解を深める。また、履歴書を書く際の企業の特徴やガクチカネタなどを選択する際のポイント解説等を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	○41社合同イベント
6	41社の人事担当の方の説明を聞き、志望動機やガクチカを書く際のポイント解説、就活にかかわる用語等の解説を行う。
7	
8	○カウンセラによる特別授業
9	自己分析や企業との接点等、就活に必要な知識を得る。
10	○現役エンジニア・元エンジニアによる特別授業
11	開発職、インフラ職、セキュリティ職など様々な職種の現役エンジニアや元エンジニアの話を聞き、職種や業務内容についての理解を深める。
12	
13	
14	
15	

【成期末試験】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合						-

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

教育機関にて学内のシステム・インフラ開発業務に従事
教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当.

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科	2025	2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 選択	講義	就職対策Ⅲ	砂賀 勝己	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

企業に対する理解を深める。履歴書に書くネタ探しのポイントを習得する。様々な業種や企業を知る。

【講義概要】

多くの企業の人事担当の方やキャリアコンサルタントの話を聞き、企業や業種に関する理解を深める。また、履歴書を書く際の企業の特徴やガクチカネタなどを選択する際のポイント解説等を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	○41社合同イベント
6	41社の人事担当の方の説明を聞き、志望動機やガクチカを書く際のポイント解説、就活にかかわる用語等の解説を行う。
7	
8	○カウンセラによる特別授業
9	自己分析や企業との接点等、就活に必要な知識を得る。
10	○現役エンジニア・元エンジニアによる特別授業
11	開発職、インフラ職、セキュリティ職など様々な職種の現役エンジニアや元エンジニアの話を聞き、職種や業務内容についての理解を深める。
12	
13	
14	
15	

【成期末試験】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合						-

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

教育機関にて学内のシステム・インフラ開発業務に従事
教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当.

【教科書・参考文献】

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	ビジネスマナーⅡ		今村 朋子	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。 併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しも行う。																					
【講義概要】																					
授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス																				
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点																				
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法																				
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本																				
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T、P、Oに合わせた言葉遣い																				
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」																				
7	中間試験																				
8	電話の対応① 電話対応の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応																				
9	電話の対応② 電話対応の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成																				
10	訪問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方																				
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次																				
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー																				
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール																				
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。としない。																					
【教員紹介】																					
都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。 著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社																					
【教科書・参考文献】																					
各クラス共通 「社会でいきる 実践ビジネスマナー」																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	ビジネス検定対策		今村 朋子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ビジネス能力検定3級合格を目指す。 ビジネスの基本的な在り方を学び、実務力とコミュニケーション力をつける。							
【講義概要】							
ビジネスの基礎知識を学び、検定日までは毎回演習問題を実施し理解を深めます。 ビジネス能力検定終了後は、さらなる自己啓発に取り組み、就職活動の準備へ繋げて行きます。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	キャリアと仕事へのアプローチ 働く意識 演習問題						
2	仕事の基本となる8つの意識 演習問題						
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本 演習問題						
4	指示の受け方と報告・連絡・相談 演習問題						
5	話し方と聞き方のポイント 敬語の種類と必要性 演習問題						
6	来客対応と訪問の基本マナー 面談と名刺交換 演習問題						
7	中間試験						
8	会社関係でのつき合い 冠婚葬祭の基本 演習問題						
9	仕事への取り組み方 定型業務と否定形業務 演習問題						
10	ビジネス文書の基本 社内文書・社外文書・社交文書 演習問題						
11	電話対応 電話の受け方・かけ方 取りつぎの仕方 演習問題						
12	統計・データの読み方・まとめ方 表とグラフ 演習問題						
13	情報収集とメディアの活用 インターネット・新聞 演習問題						
14	会社を取り巻く環境と経済の基本 求められる人材とは 演習問題						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
	割合	80%			20%		100%
	(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。 					
【教員紹介】							
都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。 著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社							
【教科書・参考文献】							
各クラス共通 「ビジネス能力検定3級」テキスト及び問題集							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	ビジネス数学		唐戸 民雄	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ビジネス数学3級の合格を目指す。願わくば2級に合格したい。							
【講義概要】							
ビジネス数学とあるが、決して複雑な計算を要するわけではない。基本的な四則演算と初歩的な分数の知識の確認をしつつ、演習を行う。また、初歩的なビジネス用語にも触れる。社会のしくみ、動向を示す数字のごく初歩的なものを確認していきたい。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ビジネス数学について 演習Ⅰ 割合 百分率・歩合						
2	演習Ⅱ 割合の利用 売買						
3	演習Ⅲ 損益費 分割払い						
4	演習Ⅳ 把握力Ⅰ 業界シェアの動向は？売上状況は？どれだけ売れ筋に頼っているか？契約数は？						
5	演習Ⅴ 分析力Ⅰ 小売店Aの利益は？Nさんの年収は？完全失業率は？5年後の受取利息は？						
6	演習Ⅵ 分析力Ⅱ 定期預金の満期いくらになる？為替差益(差損)はどれくらい？平均賃金はいくら？ 他						
7	総合演習Ⅰ 把握力・分析力						
8	中間試験						
9	演習Ⅶ 選択力 最適な通勤ルートは？どの部署に配属させればよい？売り上げを最大にする価格は？						
10	演習Ⅷ 把握力Ⅱ どのITベンダーに委託する？模範店舗はどの店舗？利益を最大にする戦略は？ 他						
11	演習Ⅸ 予測力Ⅰ 来月の売上高は？R社に何時に到着する？8月の入場者数は？製品を作るのに何時間かかる？						
12	演習Ⅹ 予測力Ⅱ 集計作業が終わるのはいつ？製品Zの納期はいつ？B店がA店を追い抜くのはいつ？ 他						
13	演習Ⅺ 表現力Ⅰ 受験者数を棒グラフで示そう 売上構成を円グラフで示そう データ分析のヒストグラムは？ 他						
14	演習Ⅻ 表現力Ⅱ 販売数量と気温の関係をみえる化 株価の動向をローソク足で表すと？ 他						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
	割合	80%	10%		10%		100%
	(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。 					
【教員紹介】							
四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。							
【教科書・参考文献】							
授業時にプリントを配付する。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	情報関連法規Ⅱ		佐久間 悠太	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
①現代の市民生活を送るうえで必要な法的知識を修得する。 ②情報処理技術者として必要な法的知識を修得する。																					
【講義概要】																					
本講義では、身近な法律問題を取り上げて、法律学の基本的な知識を修得します。また、情報処理技術者として必要な法的知識を修得します。単なる知識として理解するだけでなく、具体的な事例をもとに、法的思考を養うことを目標とします。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	イントロダクション（知的財産権のあらまし）																				
2	商標法																				
3	不正競争防止法																				
4	特許権、実用新案権、意匠権																				
5	著作権①																				
6	著作権②																				
7	中間試験																				
8	電子商取引																				
9	個人情報保護法																				
10	情報公開法																				
11	情報処理技術者として必要な法律について理解する①																				
12	情報処理技術者として必要な法律について理解する②																				
13	情報処理技術者として必要な法律について理解する③																				
14	情報処理技術者として必要な法律について理解する④																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td>15%</td><td>15%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%		15%	15%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%		15%	15%		100%															
(補足) ・レポートや自習課題は必ず提出すること ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。																					
【教員紹介】																					
名古屋市立大学大学院修士課程修了。専攻は憲法学。大学院修了後、中日本高速道路株式会社に8年間勤務し、法務業務（契約書審査や訴訟対応等）や情報システム業務を主に担当。2021年に同社を退職し、現在は行政書士佐久間事務所の代表として、企業の法務業務をサポートしている。東北大学大学院博士課程に在籍中。																					
【教科書・参考文献】																					
米丸恒治編『18歳からはじめる情報法〔第2版〕』（法律文化社、2022年）																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	演習	文章作成/読解		平塚悠生	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
この講義では「読みやすく、分かりやすい文章を書く練習をする」を目的とする。 とにかく、自分の頭と手を実際に動かして書く練習をしましょう。							
【講義概要】							
授業プリントを配布しながら講義を進める。 授業の終わりに課題を提出し、回収するので必ず取り組むこと。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	読みやすい文章を考える						
2	文章構成の手順：PREP法を意識して一目で伝わる文章を書いてみよう						
3	句読点の適切な使い方：適当ではなく適切な部分に使いましょう						
4	語彙を増やす：適切な語彙を選び文章の説得力をあげよう						
5	漢字とひらがなの使い分け：7：3を意識しよう						
6	接続詞：展開・逆説・並置・例など適切な接続詞を用いてみよう						
7	順序の整理：自然な順序で書きましょう						
8	主張表現：重要点は2回書きましょう						
9	修飾語と被修飾語を近づけよう：文章のねじれをなくそう						
10	比喩表現：よい比喩を活用しよう						
11	敬語の復習：正しい敬語を身に着けよう						
12	読みやすい文章とは：不要な語、あいまいな表現、こそあど言葉、言葉の重複に気を付けよう						
13	文章校正：書いた文章を校正してみよう						
14	演習問題						
15	演習問題						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> レポートや自習課題は必ず提出すること 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 						
【教員紹介】							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は17年程度。							
【教科書・参考文献】							
オリジナルのプリントを配布します。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ		セキュリティ・ネットワーク科 担当教員	無	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。</p>							
【講義概要】							
この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	春のハイキング						
2							
3							
4							
5	学園祭準備（1日目、2日目）						
6	学園祭（1日目）						
7							
8							
9	学園祭（2日目）、後片付け						
10							
11							
12	秋のハイキング						
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) <ul style="list-style-type: none"> ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。 							
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		セキュリティ・ネットワーク科		2025		2年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 選択	実習	課外活動Ⅱ		セキュリティ・ネットワーク科 担当教員	無	1単位 15時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

インターンシップで就業体験をしたり、企業との産学連携事業を通して特別授業やセミナーを受講、外部の勉強会やコンテスト参加など、就職に役立つ知識の習得や最新の技術動向に触れるなど、学内の授業だけでは体験できないことを経験する。

【講義概要】

参加した時間数に応じて1次元単位時間を超えた場合に1単位を認定する

回	授業計画及び学習の内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	インターンシップ、企業が実施する特別授業、セミナー受講、外部の勉強会参加、コンテスト参加など
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席と取り組む姿勢)	合計
割合				50%	50%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-
